

学校概要

創立 113 周年	学校長 小澤 好一	副校長 足立 渉	学期 2 学期制	児童・生徒数 828 人
学級数 一般級: 26 個別支援級: 4			主な関係校: 横浜吉田中学校・老松中学校	

学校教育目標

人や自然に進んでかかわり、自ら学びを高め、心豊かにたくましく生きていく力を育てます。～自己教育力とコミュニケーション力～

- ほん 本物にふれ、豊かな感性・心を育てます。(知・徳・公)
- ち 地域や仲間とのかかわりを大切にします。(公・開)
- よ よく考え、自らの学びを高めていく力を育てます。(知・開)
- う 運動に親しみ、自らの体や心の健康に関心をもち、自他の生命を大切にします。(徳・体)

学校の特色

本校の学区内には、県や市、区の中核となる行政施設や文化施設、また市内有数の商業地域や繁華街が存在する。そして、6つの連合自治会、47の自治会・町内会から学区が形成されており、通学にかなりの時間がかかる。本年度、みなとみらい地区の児童がおよそ250名になり、登下校を含めた児童の安全確保が引き続き課題となっている。また、この地区には、平成30年に第二方面校(みなとみらい本町小)が開校するため、その準備のために大きな負担が予想される。さらに、今年度も、外国籍及び外国につながる児童が増加している状況から、国際教室の充実や保護者との連携が課題となっている。

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、「だれもが、安心して豊かな学校生活を送れる」ような学校づくりを目指します。
- ・子ども一人ひとりが学びの楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
- ・目の前の子ども一人ひとりとしっかり向き合い、子ども理解を軸とした指導・支援に努め、子どもが安心して楽しく過ごせる学校づくりを進めます。
- ・家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりを進めます。
- ・地域の教育力を生かし、全教職員が創意工夫と組織的な協力(チーム本町)によって、活気溢れる学校運営を進めます。

小中一貫教育の取組

横浜吉田中 ブロック : 横浜吉田中学校・南吉田小学校

9年間で育てる子ども像	○自尊感情をもち、豊かな学びができる子ども ○思いやりの心をもち、地域に貢献できる子ども
自校の具体的取組	・子どもの小中交流や教師の授業交流、地域行事やラジオ体操等の参加を通じたつながりで、子どもたちが安心し、期待をもって中学校に進学できるようにします。 ・小中連携スクールカウンセラーを活用し、小中9年間で子どもの成長を見ていく相談体制を充実させます。 ・国際教室間での連携を深め、外国籍、外国につながる子への効果的な指導を工夫していきます。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	基礎・基本の確実な定着を図るために、わかる楽しい授業づくりを進め、子どもが自ら考え、自ら学びを高めていく力を育てます。	①朝会や集会などを活用して、人の話をしっかりと聴く態度を育て、自主性を高めます。②学習状況調査の結果を活用し、児童の実態に合った指導方法の工夫をしていきます。③各教科等で「単元構成を工夫」し、子どもの学習への本気度を上げ、課題解決的な学習を積極的に取り入れ、児童の学びを高めていきます。
豊かな心	人権を尊重した教育を推進し、あらゆる教育活動において自他を大切にしている心情や態度、自然や美しいものなど、本物にふれて感動する心を育てます。	①子どもたち一人ひとりを大切に、だれもが安心して生活できる温かい雰囲気の中で学びたい意欲を育て、道徳の時間を充実させ、年に1回は保護者に公開します。
健やかな体	基本的な生活習慣が身に付くよう全校で取り組むとともに、一校一実践運動を継続し体力向上を目指します。	①昼食後の歯磨きタイムや「わくわく健康ランド週間」、全校健康集会(年2回)などを実施し、健康教育の充実を図っていきます。②自分で食物を育てる活動や給食指導を充実させ、食育を推進していきます。③一校一実践運動の取組で、縄跳びタイムや縄跳び集会を設定し、体力の向上を図っていきます。
児童指導	全教職員で「本町スタンダード」に基づいた指導を徹底するとともに、事故やいじめの未然防止、早期発見、迅速な対応に努めます。	①組織的な関わりができるよう、月1回児童理解研修を行います。②「本町スタンダード」を活用し、学校と家庭が共通理解のもと指導を行います。③学年研究会を充実し、児童理解と具体的な対応を組織的に進めます。④気持ちよいあいさつを励行し、友達や保護者、地域の人たちと進んでコミュニケーションを図ります。
特別支援教育	特別な支援が必要な子どもの実態を把握し、個に応じたきめ細やかな指導・支援ができるよう、組織的に取り組んでいきます。	①特別な支援が必要な子どもについて、保護者の意向を確認しながら、週1回の取り出し指導を行います。②外国籍、外国につながる子の実態を的確に把握し、国際教室への所属意識を高めるとともに、各学級担任と連携し学習を充実していきます。③個別支援級や国際教室に在籍する児童について共通理解を図るための研修会を行います。
地域連携	地域や保護者から信頼される学校を目指して、PTA活動及び地域行事に積極的に参加するとともに学校運営協議会の設置に向けて努力します。	①月に一度のPTA常任委員会に必ず参加します。②野毛大道芸、馬車道祭りなどの地域行事に特別クラブの参加を通して積極的に関わります。③地域の代表者が参加している教育懇話会の意義と役割を進化させ、学校運営協議会に近づけていきます。④みなとみらい本町小の開校に向けて準備委員会を開設し、通学路等の準備を決定していきます。
いじめへの対応	全職員で「本町小 いじめ防止基本方針」に基づいて、だれもが安心して豊かな学校生活を送る学校を目指します。	①教師がアンテナを高くもち、一人ひとりを大切にします。②個に寄り添い、保護者との信頼関係づくりを図ります。③いじめと認知した場合は、直ちにいじめ防止対策委員会を開き、実態把握と指導の方針等を検討し対応します。さらに再発防止に努めます。④年2回のいじめアンケートを行い、児童の日頃の様子を把握し学級経営に生かします。
人材育成・組織運営	教職員の専門性向上に向けて、メンターチームや学年研究会を充実させていくとともに研修会を計画的に行います。	①月1回のメンターチームを充実させ、授業参観を通して学習指導、生活指導の実践力を高めていきます。②事故やいじめの早期発見・対応など児童理解や児童指導に関する情報交換を毎週の学年研究会で必ず行います。③全教職員の危機管理意識や対応能力の向上のため、児童支援専任を核にしながら年3回の研修を実施します。